



東京都市大学

CITY UNIV.

理工学部 原子力安全工学科 / 総合理工学研究科 共同原子力専攻

- 1960年に原子力の平和利用と技術開発を目的として原子力研究所を設置
- 2008年に将来の原子力分野を担う人材の育成を目的として学科を設立
(研究用原子炉を有した日本の大学は、京大・近大・東大・立教大・都市大の5つのみ)

学びの特徴

- 基礎から専門への段階的なステップアップと総合的な工学技術の習得
- 実務に即応できる技術者の育成
- 倫理観を持つ新時代の研究者の養成
- 各種研究機関と連携したハイレベルの実習を重視

研究分野について

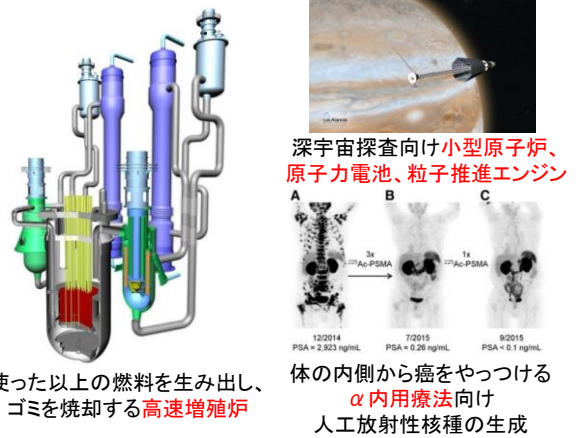
- 原子炉工学
- 原子力安全工学
- 廃炉 / 再処理 / 核燃料サイクル工学
- 構造 / 耐震工学
- 放射線計測 / 加速器工学

原子力におけるほぼ全ての分野を網羅

将来の進路について

- 就職率は毎年100%
 - 電力会社(東電、関電、原電など)
 - メーカー(三菱重工、東芝、日立など)
 - 官庁/国研(規制庁、JAEAなど)
- 様々な分野への柔軟な進出も可能
 - 非原子力(トヨタ、JR、竹中工務店など)
- 早稲田大学との連携大学院への進学

キャンパス所在地
東京都世田谷区
&
神奈川県川崎市



都市大 / 原子力安全工学科の特色

- 全国でも数少ない原子力 & 放射線分野を網羅した学科
- 1学年の定員は45名で、広範な都道府県から入学
- 将来の原子力分野を担う人材育成のためのAO入試「原子力人材入試」を実施中